

授業科目名 (英文名)	教職実践演習	科目区分 対象学生	
単位数	2.00	開講年次・ 学期	4年次・後期
担当教員	池田 雅則 古川 恵美 本田 順子	所属	看護学部
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	講義目的は、養護教員として必要な資質能力が最終的に形成されたかを確認した上で、苦手分野を克服し、受講者それぞれの今後の課題を明らかにしていくことである。到達目標は、受講者が養護教員として必要な資質能力（使命感、責任感や教育的愛情 / 社会性や対人関係能力 / 児童生徒への理解 / 保健教育の指導力）の形成を自ら確認、苦手分野を克服し、さらには今後の課題を設定できるようになることである。		
講義内容・授業計画	<p>授業内容</p> <p>これまでの教職課程科目の履修によって形成された資質能力に基づき、議論や実習を通して自らの苦手分野に気づき、克服し、さらには今後の課題を設定していく。</p> <p>授業計画</p> <ol style="list-style-type: none"> ガイダンス 【使命感・責任感・教育的愛情】 実習での経験に基づいた養護教諭の役割と使命に関する考察と議論 実践事例文献に基づいた養護教諭の役割と使命に関する考察と議論 【児童生徒への理解】 実践事例文献に基づいた児童生徒理解の方法論 特別支援学校における見学実習 小学部 特別支援学校における見学実習 中学部 特別支援学校における見学実習 高等部 特別支援学校における見学実習 養護教諭の役割 特別支援学校見学実習の振り返り 【社会性や対人関係能力】 実践事例文献に基づいた児童生徒との関係づくりの方法論 実習での児童生徒との関係づくりについての考察と議論 【指導力】 実習での保健学習・保健指導の振り返りと改善 養護教諭の職務におけるICTの活用 ケア技術演習 受講者それぞれの資質能力向上のための課題の検討 		
テキスト	適宜、配布される		
参考文献	<p>大谷ら『養護教諭のためのフィジカルアセスメント』日本小児医事出版社、2017。 大谷ら『養護教諭のためのフィジカルアセスメント2』日本小児医事出版社、2013。 杉浦守邦『改訂 養護教諭のための診断学 内科編』東山書房、2012。 杉浦守邦『養護教諭のための診断学 外科編』東山書房、2010。 （文献はいずれも学生に貸し出される）</p>		
成績評価の基準・方法	<p>成績評価の基準</p> <p>到達目標として掲げた養護教員として必要な資質能力について、その形成を振り返りながら今後の課題を設定できている者に単位を授与する。 講義目的・到達目標に記載する能力（知識・技能、思考力、判断力、表現力等）の到達度に応じてSからCまで成績を与える。</p> <p>成績評価の方法</p> <p>議論・実習への参加や取り組みへの意欲や態度（50%）、レポート（50%）</p>		
履修上の注意・履修要件	養護実習の修了を履修要件とする。		

	<p>本科目の単位修得をもって養護教諭1種免許状の取得要件を満たすことになる。単位を修得するためには、原則として全日程に出席しなければならない。受講予定者の養護実習スケジュールにより開講日が変動する。科目担当教員からの連絡を逐一確認すること。</p> <p>新型コロナウイルス感染症に伴う特例措置に基づく遠隔授業 当授業は、原則全ての授業を対面で実施する予定ですが、履修者人数によっては、新型コロナウイルス感染症対策として、履修者を複数の教室に分けて教室間をオンラインで繋ぐ方法や、対面授業と自宅でのオンライン授業を隔週実施する方法とすることがあり、自宅等でオンライン授業の受講を視聴できる通信環境(PC・タブレット等の端末やWi-Fi環境)が必要となる場合があります。</p>
実践的教育	<p>実習の振り返りや見学実習を含むことから、実践的教育に該当する。担当者の古川は、養護教諭としての職務経験を有する者である。</p>
備考	<p>教職課程での学習を統合する機会になることを期待する。</p>